

この度の東北地方太平洋沖地震で亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、行方不明者のご無事を衷心よりお祈り申し上げます。様々な困難の中におられる被災者の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。各地で救助復旧活動に従事されている皆様に深甚なる敬意を表しますと共に、安全かつ迅速な行動でご活躍下さいますことを心よりお祈り申し上げます。一刻も早い復興を心よりお祈り致し、支援に全力でご協力して参ります。今号では、東京都における支援等について取りまとめ、ご報告致します。



東北地方太平洋沖地震被災支援と取組み

1 東京都の被災地域への支援

※平成23年3月26日12時現在

人的支援

広域緊急援助隊等 **1,297名**、車両等

原子力発電所対策 **37名**、放水車

緊急消防援助隊等 **2,303名**、車両等
(うち原子力発電放水活動**419名**、屈折放水車等)

東京DMAT [災害派遣医療チーム] **12チーム 41名**

医療救護班 **36班 134名**

保健師チーム **3班 14名**

検案医 **5名**

水道事業技術師等 **186名**、給水車、バス

こころのケアチーム **2班 8名**

児童相談所職員 **2名**

被災地への救援物資の搬送

毛布:**164,720**枚、アルファ化米:**259,000**食、クラッカー:**102,620**食、飲料水:**10,000**本
肌着:**19,100**枚、応急水袋:**800**枚、ほ乳瓶:**1,020**本、調製粉乳:**10,008**缶、医薬品
医療機器:**23**品目、マスク:**2,000**枚、ハンドタオル:**500**枚、遺体収容袋:**4,700**個

救援物資

救援物資の受付 救援物資を2か所(東京都庁、京浜トラックターミナル)で受付

受付件数:**15,230**件(3月26日16時現在累計)

義援物資の搬出

おむつ:**4,500**枚程度、介護オムツ:**3,550**枚、幼児オムツ:**6,450**枚、簡易トイレ:**10,000**台
水:(2ℓ)**500**箱、水:(500m×24本)**2,000**箱、ゼリー食品等:**24,500**個
コンタクト洗浄液:**1,400**個程度、充電器防災キット:**2,000**個、充電式ラジオ:**1,000**台、他多数

ご協力
ありがとう
ございました
15,230件

東京都内からの救援物資の受付、3月27日16時をもって一時中止

これまでに多くの物資が届けられたことや、被災地までの燃料確保が困難な状況から、都に対し、岩手県・福島県より物資受入れを一時中止したい旨の要請がありました。今後、被災地等の状況を踏まえ、再開する際は改めてお知らせ致します。

平成23年都議会第一回定例会が閉会

—平成23年度予算11兆7642億円が成立—

平成23年第一回定例会が、2月8日から3月11日まで開催されました。

今定例会では、初日に石原知事の施政方針説明が行われ、2月17日から3月8日の予算特別委員会の審査を経て、知事提出議案106件、人事案3件、「鉄道駅における可動式ホーム柵等の整備促進に関する意見書」など意見書2件、決議1件が可決（人事案件は同意議決）され、一般会計6兆2360億円、総額11兆7642億円の新年度予算が可決、成立しました。

このうち築地市場移転に係る中央卸売市場会計予算案は、民主党などの反対多数により否決される見通しでしたが、花輪ともふみ都議（世田谷区選出）が採決の直前に、突如、会派から離脱し、これまでの主張を180度変えて予算に賛成した為、1票差で可決されました。

この議決が行われた3月11日の閉会日には、石原知事が4選目の出馬表明をしました。

□ 新年度予算で、産業を支え 雇用を守る更なる取組みを

一般会計の予算規模は、昨年度1兆円もの減収となった都税収入が小幅増に留まる中、前年度比0.4%減の6兆2360億円で、3年連続の減となりました。

このような中、政策的経費である一般歳出が6年ぶりに減となりましたが、経常経費を648億円削減する一方、投資的経費を198億円増の8335億円とし、新たな雇用や需要を創出する社会資本の整備に前向きな姿勢を示しています。

都議会民主党が要請した「重点要望事項」には、前年度比6.3%増の3852億円が確保されており、とりわけ、厳しい雇用環境に晒されている若年層の就業対策や、急激な円高などに立ち向かう中小企業への融資枠の設置など「産業を支え、雇用を守る」分野については、前年度比27.3%の伸びとなっています。■



□ 安全性の確認と関係者の合意なき 築地市場の豊洲移転には反対！

都議会民主党は、築地市場移転問題について、移転予定地の安全性の確認と関係者の合意なき、強引な移転には反対してきました。

昨年10月、石原知事が豊洲移転を宣言した後

も、地元・中央区から要望が出され、水産仲卸業者の総代選で移転反対派が過半を占めるなど、関係者の合意が得られているとは言えません。

また、都は、土壌汚染対策工事を実施しても、法律に基づく区域指定が解除されないことを認めています。

築地地区のまちづくりについて、都は「地元区などと協議する」と踏み込みましたが、納得できる内容ではありませんでした。

民主党は、市場会計から豊洲市場関連経費の一部を削除する修正案を提案しましたが、予算特別委員会では僅差で修正案が否決され、本会議で、突然の造反劇により、63対62で知事原案が可決されました。■

□ 緊急搬送道路沿道建築物の 耐震診断を義務化

建築物の耐震診断・改修の実施は、現行の耐震改修促進法では努力義務にとどまり、所有者の意思に委ねられていることから、対策の進展には限界があり、耐震化は進んでいません。

今定例会では、特定緊急輸送道路の指定、その沿道建築物の所有者に対する耐震診断の実施義務、耐震改修等の実施の努力義務、耐震化に要する費用の助成などを内容とする「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」が可決されました。■



□ 認知症疾患医療センター 都内12カ所整備へ

全国で95カ所ある認知症疾患医療センターが、ようやく都内にも整備されます。

これにより、認知症の鑑別診断まで数ヶ月待ちという状況の改善や、地域の医療機関や介護関係者が連携した対応などが期待されます。

また、一般の施設や病院では対応が困難なBPSD^(*)や身体合併症受入れのための基幹型センターの整備も今後必要であるため、あわせて代表質問で質しました。

都は、センターが患者に応じた適切な医療機関を紹介し、迅速な診断、医療・介護連携協議会や事例検討会を通じた関係機関



とのネットワーク構築などを行うとし、都が標準的な地域連携パスの作成を支援すると答弁しました。指定拡大は、今後の運営状況を踏まえ検討すると答えました。

*行動心理症状(攻撃的行動、不潔行動、異食など) ■

□ ハツ場ダム再検証へ 新たな水需要予測せよ

国では今秋を目標に、ハツ場ダムの必要性についての再検証を進めることとしています。

しかし、現在、国は、都が平成15年に予測した古いデータを用いて利水面での検証作業を行っており、これでは、誤った結論が導き出される恐れがあります。

都は、極力早い時期に結論を出すよう求めています。そのためのデータは古いままです。

都議会民主党は、今すぐにでも、ハツ場ダムの必要性の再検証のため、まず先に、都が最新の水需要予測を示すことを求めました。 ■

□ 更なる支援で中小企業に 成長と活力を！

中小企業対策では、国が、緊急保証制度を22年度末で終了する中、都議会民主党が都の支援充実を求めたのに対し、都は「小規模起業家に対する保証料の2分の1補助の継続や500億円規模の円高対応融資メニューを創設する」と答弁しました。

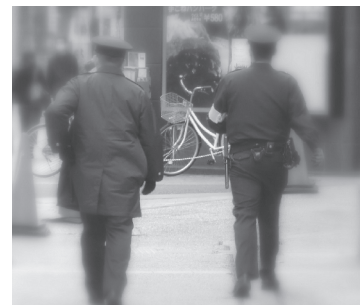
加えて、中小企業の海外販路開拓支援でも、ナビゲーターを倍増することや海外展示会への出展機会の拡充などを約束しています。 ■

□ 「暴力団排除条例」が可決・成立 誰もが暴力団との関係遮断へ

これまでの暴力団排除活動は、「三ない運動」(「利用しない」「金を出さない」「恐れない)」で推進されてきましたが、今回の条例は、更に「交際しない」という新たな理念を加えて、暴力団を社会的に排除していこうというものです。

都議会民主党は、意図せず関係を持ってしまった事業者などには、丁寧に関係遮断を促すこと、暴力団の妨害行為には警察が万全の保護策をとることなどを求めました。

警視総監は「暴力団に指一本触れさせないという強い覚悟をもって、都民の安全確保に万全を期して」いくとしています。 ■



吉田康一郎を応援する会 ご入会/カンパのお願い

ご入会・カンパをいただける方は、吉田康一郎事務所まで
電話・FAX・Eメール等にてご連絡ください。

〈年会費〉 一口1,000円 〈郵便振替〉 00170-6-280784
〈口座名〉 吉田康一郎を応援する会

2,000円以上をご寄附いただいた場合、所得税の控除を受けることができます。

ご意見欄 吉田康一郎へのメッセージやご意見等、お寄せ下さい。⇒ FAX : 03-5345-5444、mail : voice@k-yoshida.jp

お名前		ご住所		お電話	
-----	--	-----	--	-----	--

被災者受入れ

緊急受入れ 東京武道館、味の素スタジアム、東京ビッグサイトの**3**施設で受入れ
福島県**561**名、宮城県**8**名、岩手県**5**名、茨城県**2**名、長野県**1**名、千葉県**3**名 計**580**名

被災者用一時提供住宅 都営住宅等 **2,000** 戸程度確保

広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)を羽田空港に設置 **3月12日～14日**、医療救護班 **7班 24名**
受入患者**9名**

透析患者への対応 【緊急避難所の確保】日本青年館など**2**施設で受入れ 患者約**410**名
【透析患者の移送】リフト付きバスにより移送(気仙沼市より千葉県へ)患者 **8**名

東京都職員共済組合施設における被災者の受入れ
ブランヴェール那須など**3**施設で受入れ 宿泊者数 **136**名(3月25日の宿泊者)

2 義援金募集のご紹介

東京都	みずほ銀行 東京中央支店 「東北地方太平洋沖地震東京都義援金」 (店番) 110 (普通) 2255514	民主党	郵便振替 「民主党募金口座」 (記号) 00110-6 (番号) 65328
			りそな銀行 衆議院支店 「民主党募金口座」 (店番) 328 (普通) 7815354

3 生活支援情報サイトの一覧

- 計画停電の最新情報
「中野区役所」サイト 計画停電 中野
- 都内の空気中汚染状況
「東京都産業労働局」サイト 東京都 核反応生成物
- 区立施設の運営状況
「中野区役所」サイト 中野区 施設 利用休止
- 水道水の水質汚染、断水、濁水情報
「東京都水道局」サイト 東京都 水道局
- 首相官邸からの緊急情報
「首相官邸」サイト 首相官邸 対策
- 中野区が中止した催し物など
「中野区役所」サイト 中野区 震災 中止

4 非常用持出品を準備

※ 災害時に必要なものは、一人ひとり、異なります。

避難時に最初に持ち出すものです。

リュック等に入れる重さの目安は

男性で15kg、女性で10kg程度です。

貴重品 現金、身分証明書、健康保険証、印鑑など

電気製品 携帯ラジオ、懐中電灯、電池、携帯電話の充電器など

救急薬品 絆創膏、ガーゼ、包帯、消毒液、常備薬など

非常食 水、乾パンや缶詰など(火を通さないでも食べられるもの)

その他 メガネ、タオル、ティッシュ、カイロ、ホイッスル、サランラップ、毛布、生理用品など

5 節電のお願い

停電が起きないように、何卒、節電にご協力ください。

吉田康一郎の役職・所属 【委員会】 財政委員会副委員長 【審議会】 青少年問題協議会、東京都交響楽団評議員会 【会派】 環境政策調査会、都市政策調査会、医療政策調査会、交通政策調査会、築地市場再整備PT、行政改革PT、がん対策PT、犯罪被害者支援PTなど 【議員連盟】 都議会拉致議連(幹事)、防災都市づくり推進計画・促進議連、防衛議連、花粉症対策推進議連、党日台友好議連など。

【吉田康一郎事務所】
中野区新井 1-1-16-202
電話 03-5345-5443
FAX 03-5345-5444
Eメール voice@k-yoshida.jp
HP http://www.k-yoshida.jp/